次期まちづくり構想に関する意見について

福知山市議会

令和８年８月２８日

次期まちづくり構想に関する意見について

福 知 山 市 議 会
令和８年８月２８日

Ⅰ．長期ビジョン

1. 北近畿における福知山市の位置づけ

（意見）

広域交通網が結節するとともに、教育・研究、産業・雇用、商業、医療といった近隣地域からも利用される都市機能が集積している本市の強みを生かすことが重要である。

2. 人口減少への対応

（意見）

人口減少を緩和する施策と減少局面での持続可能性を確保する施策の両面から対策を強化することが重要である。

3. 市民理解の向上

（意見）

市民にとって理解しやすく、親近感を持てる表現を用いることが大切である。また施策の進捗状況と成果を、市民に分かりやすい形で発信することが重要である。

Ⅱ．みんなで取り組むまちづくり

【政策分野 1】誰もがこのまちの一員として尊重し合う共生のまち

1.市民協働

（意見）

多様な主体が市政に参加しやすい環境を整備するため、市の施策に関する情報提供と市民との対話の場を充実させることが重要である。また、地域における相互扶助の仕組みを支援するとともに、若者、女性、NPO、企業といった多様な主体が地域づくりに関わりやすい体制を整え、支援することが重要である。

2.多文化共生施策

（意見）

複数言語とやさしい日本語を用いた生活情報の提供や相談などにより、外国人住民が地域活動に参加しやすい環境づくりを進めること。同時に、外国人住民と受け入れ企業や地域住民との交流の場を広げ、文化や生活様式の相互理解を深める取組を展開することが重要である。

【政策分野 2】福知山の記憶と個性を未来につなぐまち

1.スポーツ観光の推進

（意見）

スポーツ大会やイベント開催時における宿泊、飲食、観光施設の利用促進による経済効果を高めるためにも、スポーツ観光の視点を取り入れることが重要である。

【政策分野 3】こども・若者が育ち、誰もが学び続けられるまち

１.福知山公立大学の地域定着率向上と魅力化

（意見）

学生の地域定着率の向上と地元高校生の入学率の引き上げとあわせて全国からの学生獲得を視点に、大学の魅力づくりに努めることが重要である。

2.学校内の居場所づくりとポジティブ行動支援

（意見）

ポジティブ行動支援（PBS）の理念を学校全体に浸透させ、児童生徒の良い行動を認め、伸ばす支援体制を確立することが重要である。同時に、小学校から中学校卒業後までの継続的かつ包括的な支援体制を構築し、地域全体で子どもを支える仕組みを整えることが重要である。

【政策分野 4】暮らしを支える産業と、賑わいあふれる持続可能なまち

1.農業振興の発想転換

（意見）

中小・零細農家向けの支援制度について、周知活動を強化し、活用を促進することが重要である。あわせて、競争力の高いブランド作物の産地形成と付加価値向上を支援することが重要である。また、採算性の見込める農業経営モデルの構築や営農と太陽光発電の組み合わせなど、耕作放棄地の増加を防ぐ新たな取組の検討が必要である。

2.商工業振興の重点化

（意見）

経営基盤の強化、AI やデジタル技術を活用した生産性の向上と業務の効率化、事業承継の円滑な進行、起業・創業への支援を推進し、中小事業者も含めた商工業全体の発展を図り、地域経済の活性化と雇用機会の拡大を実現することが重要である。

【政策分野 5】人とまちをつなぐ暮らしの基盤が整うまち

1.中山間地域の移動手段確保と交通ネットワークの構築

（意見）

交通空白地を解消し、移動手段を確保するため、あらゆる交通手段を組み合わせるなど、総合的な交通体系を構築することが重要である。

2.都市圏との時間短縮を実現するインフラ整備

（意見）

都市圏への到達時間を短縮するため、国や京都府等との連携を深め、広域的な交通ネットワークの充実と機能強化を進めることが重要である。

【政策分野 6】いのちと暮らしを支え、安心して暮らせるまち

1.防災体制の強化

（意見）

気候変動に伴う新たなリスクを踏まえた防災体制の整備と、災害事例（熊本地震、千葉豪雨など）から得られた教訓を反映した避難所の環境改善と空調設備の導入促進が重要である。加えて、最近多発する地震被害と森林火災への対応強化も必要である。

2.医療体制の維持

（意見）

京都府が策定する地域医療構想と医療計画の形成過程において、本市の役割と位置づけが適切に反映されるよう、積極的に提案・働きかけることが重要である。また、市民の生命と生活を守る地域医療の継続性を確保するため、市民病院の経営基盤の安定化を進めることが重要である。

【政策分野 7】持続可能な行財政運営を進める」

1.AI 導入と業務効率化、統廃合による行政コスト削減

（意見）

ＡＩ技術の活用による業務効率化は、職員の作業時間等を削減するだけでなく、市民向けサービスの質を維持・向上させるための重要なツールとして位置づけることが重要である。新規事業の抑制と既存事業の統廃合を進める際には、市民生活への影響を最小限に抑えるよう、慎重かつ段階的に進めることが重要である。